

いつも、インシデント報告ありがとうございます

2016.7.11

# 京大病院医療安全情報81

## 【造影MRに輸液は必要？】 第2報

事例【腎機能低下の患者さんの検査前輸液投与忘れ】  
9：45より**造影MR**予定であった。検査前後に、生食（500ml / 6H）点滴の指示があり、検査までに投与完了の予定であったが投与を忘れた。

### 【今回のポイント】

この患者さんは、造影MR検査のために点滴オーダーが入っており、前日に静脈ルート確保されていた。予定通り点滴を開始すると、夜中3時頃より点滴開始となる。

しかし、そもそも造影MRは腎機能の保護のための、点滴が必要であったのでしょうか？



造影CTと造影MRの違いってなんだろう



2016.7.11

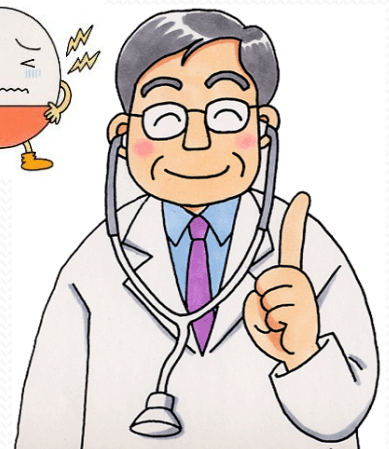
# 【造影CTと造影MRの違い】

	造影CT検査	造影MR検査
代表的な造影剤種類	ヨード造影剤	ガドリニウム造影剤
主な副作用	発疹、蕁麻疹、嘔気等	
重大な副作用	ショック、アナフィラキシー様症状	
	<b>腎不全</b>	<b>腎性全身性線維症（NSF）</b>
相互作用注意	ビグアナイド系糖尿病用剤	記載なし
検査前後の輸液の適応	<b>○有効</b> 腎不全予防のため	<b>×無効</b> 点滴をしても NSF予防にはならない※
輸液の基準	30ml/分 $\leq$ eGFR<45ml/分 の場合、 <b>生理食塩液または 炭酸水素ナトリウムの 点滴が必要</b>	
造影禁忌	eGFR<30ml/分：原則禁忌	

※腎性全身性線維症は、MRI造影剤との関連が指摘されている原因不明の疾患です。投与の数日から数か月後に皮膚及び結合組織の線維化が主症状の稀な疾患です。死亡に至ることもあります。予防法が分かっていません。腎機能障害患者に発症していることが知られています。



腎不全予防のための点滴が必要と検査当日に判明した場合、放射線部から主治医または診療科の医師に連絡いたします。輸液投与か造影中止を判断してください。



詳細については  
安全管理マニュアル「MRI検査・CT検査・造影  
検査・RI検査における諸注意（第1.4版）」  
（近日改訂予定）をご参照下さい